

奈良県感染症情報

平成 30 年 第 37 週(9 月 10 日～ 9 月 16 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報(中部地区:臨時情報)
- A型肝炎の報告が増えています!!

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	RS ウイルス感染症	4.85	(3.91)	↑	↑↑	↑	↑↑
2	感染性胃腸炎	3.53	(3.06)	↗	↗	↗	→
3	手足口病	1.26	(1.35)	↗	→	→	↑↑
4	A群溶連菌咽頭炎	0.88	(0.79)	→	↘	→	→
5	突発性発しん	0.59	(0.59)	↗	↑	→	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

RS ウイルス感染症が更に増加しています。中和保健所西部地域(旧葛城保健所管内)が特に多く、その他内吉野保健所を除く全ての地域で増加が続いています。RS ウイルスは、すべての年齢層で上気道炎や下気道炎を引き起こします。健康な成人は、風邪程度の症状で自然軽快しますが、乳児や高齢者では肺炎などの下気道炎を引き起こし、特に慢性呼吸器・心疾患を合併する高齢者では入院・死亡の主要な原因になるとされます。ワクチンや抗ウイルス薬はありません。鼻水や咳程度の風邪のような症状がある人は、乳児や高齢者に近づかないように、またマスク・手洗いの感染予防対策を徹底するようにしてください。RS ウイルスには、アルコールや塩素系の消毒剤が有効です。

感染性胃腸炎も、中和保健所西部地域からの報告が多くなっています。こまめな手洗いを心がけましょう。

❖ 小児科外来情報 ❖ 中部地区:臨時情報(岡本内科こどもクリニック)

この数週に3例の生後2～3週の新生児発熱で菌血症も懸念し念のため紹介・入院の例があった。うち生後2週男児で初診時38度、感冒症状なし咳嗽なしその他著名な異常所見なしの例で本日 RSV 迅速陽性の返事があった。発熱は3日間、ミルクのみ良好、呼吸器症状の増悪なし(情報提供書のまま)

WBC10700 CRP 0.03 尚、第1子であり、周囲の明らかな RSV 接触感染源については不明。

A型肝炎の報告が増えています!!

A型肝炎とは? A型肝炎ウイルスによる疾患です。潜伏期は2～6週間と長く、発熱、倦怠感、食思不振、嘔吐、黄疸などの症状が現れます。血液検査で、肝機能の数値(ALTまたはGPT、ASTまたはGOT)などが上昇します。通常1～2カ月ほどで回復しますが、まれに劇症化して死亡する事もあります。

感染経路 食物等を介してウイルスを口から取り込む(経口感染)ことにより感染します。ウイルスは、約1～2ヶ月の間、便中に排泄されるため、排便後の手洗いが不十分だと、人の手を介して汚染が拡がります。

増加しています! 感染経路は食事等の経口感染の他に性的接触があり、特に2018年は男性の同性間性的接触による感染が増加しています。奈良県でも、例年0～3例程度でしたが、今年はこれまで7例と多くなっています。保健研究センター及び国立感染症研究所での遺伝子解析により、男性の同性間性的接触により感染拡大しているウイルスの他、昨年他県で中国産冷凍殻付きアサリから検出されたウイルスに類似しているウイルスを検出しています。

予防には A型肝炎には、有効な抗ウイルス薬はありませんが、ワクチンがあります。感染者の同居者やパートナー等、特にA型肝炎ウイルスの曝露リスクが高い方は、ワクチン接種を検討しましょう。また、症状が無くなった後も、ウイルス排泄が続く期間は、手洗い等の衛生管理は重要です。

《予防接種実施機関の探し方(FORTH) <https://www.forth.go.jp/useful/vaccination02.html>》

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

■ H30 ▲ H29 □ H28 〰 過去10年平均

